

安全な自然学校の実践に向けて

令和4年度は昨年度と異なり、新型コロナウイルス感染症緊急事態措置等の実施がなかったため、本校での自然学校の実施期間を4泊5日とする利用団体（校）が増えました。（1泊2日：2団体2校、2泊3日：15団体20校、3泊4日：2団体5校、4泊5日：23団体30校、計42団体57校 児童：9,749人）

本年度の自然学校実施期間中の傷病の発生状況をまとめましたので報告します。

I 傷病（外科）の発生状況（表1）

「クラフト」で10件。「野外炊事」で9件。「隠れ家づくり」で5件の怪我がありました。本校は大自然の中で体験活動ができる場所です。怪我のリスクはありますが、安全確保を心がける注意力を育てることは重要です。活動前に使用する道具の確認や、注意事項について丁寧に説明する時間の確保、活動中の指導の徹底をお願いいたします。また、ムカデ被害で受診するケースがありました。野外での活動では、長袖長ズボンの着用など、できるだけ肌の露出が少なくなるような服装を心がけてください。

	件数	割合
切創・挫創・刺創	19	50.0%
クラフト	6	31.5%
野外炊事	5	26.2%
サイクリング	2	10.5%
自由時間	1	5.3%
ウォークラリー	1	5.3%
自然観察	1	5.3%
登山	1	5.3%
不明	1	5.3%
カッター	1	5.3%
熱傷・火傷	7	18.4%
野外炊事	4	57.1%
クラフト	3	42.9%
打撲	7	18.4%
隠れ家づくり	4	57.1%
自由時間	1	14.3%
サイクリング	1	14.3%
移動中	1	14.3%
虫さされ	2	5.3%
隠れ家づくり	1	50.0%
交流会・レクリエーション	1	50.0%
頭のけが(打撲を含む)	1	2.6%
自由時間	1	100.0%
外傷による鼻出血	1	2.6%
クラフト	1	100.0%
目のけが	1	2.6%
不明	1	100.0%
合計	38	

II 傷病（内科）の発生状況（表2）

自然学校実施前から体調に不安があると、安心して活動に参加することが難しくなります。十分な睡眠や、排便の習慣など、事前の体調管理を意識する指導をお願いします。また、持病のある児童は、かかりつけ医への受診、持参薬の準備などをしておくことより安心です。

山の天候は変わりやすく、季節によっては昼夜の寒暖差が大きくなります。上着など、体温調節のできる衣類を準備しておく必要があります。

傷病名	件数	割合(%)
腹痛	10	17.8
頭痛	9	16.1
発熱・感冒	8	14.3
嘔気・嘔吐	7	12.5
疲労倦怠・気分不良	6	10.7
心因	6	10.7
鼻出血	4	7.1
蕁麻疹・アレルギー	2	3.6
過呼吸	2	3.6
咽頭痛	1	1.8
喘息	1	1.8
合計	56	

